

森林は水や空気と言った「生」の基盤となり、また日本の唯一の資源である木材を供給しています。しかし、今、日本の森林は木材価格の低迷から所有者が所有している意識すらなくして、手入れがされずに荒廃が進んでいます。

| | |
|----------------|-----------------|
| プロジェクトの実施場所 | 岡山県、三重県、和歌山県 |
| 吸収量(予測) | 年間 17,278 t-CO2 |
| 在庫量 | 2,949 t-CO2 |
| クレジットの次回発行予定 | 未定 |
| 1t-CO2あたりの希望単価 | 8,000～10,000円 |

「ママとちびっ子のふれあい森林吸収源プロジェクト」ではアラフォーのママさん経営者をがターン従業員と共に、「私たちの世代で貴重な森林資源を途絶えさせることなく次世代につなげ、子供たちの未来が安全で安定した暮らしができるものでありますように」との思いを込めて、社有林で長年培った技術・知識・経験を生かして、今後も森林整備を行い、CO2吸収量を増大させるプロジェクトです。



環境教育サービス
～森林は学びと遊びの場～

森林インストラクター2名が森林の持つ様々な機能についてお教えします。また森林を体感する「遊び」の機会もご提供いたします。(例：山を食す)



間伐

持続可能な森林経営



問い合わせ先： 前田林業(株)

(TEL:072-782-5123 担当:前田 多恵子)

HP: <http://homepage2.nifty.com/maeda-forest/index.html>